

番号	課名
A - 1	総務課

事務事業名	大学生等奨学資金貸付事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	I-4-9	生活の安定と自立への支援
	施策の課題(事務事業の実施目的)	能力があるにもかかわらず、経済的な理由によって大学等への修学が困難な方に対する支援を行います。	
	関連施策名(施策コード)	V-12-25	教育環境の整備・充実
		I-2-3	安心して産み育てるための支援

事業内容(経緯)	教育の機会均等を図るため、能力があるにもかかわらず、経済的な理由によって大学等への修学が困難な方に対し、奨学金を無利子で貸与し、臼杵市にとって将来有用な人材を育成することを目的に大学等奨学金制度を平成22年度に制定し、令和3年度には短期大学生と修業年限2年以上の専門学校生も対象となりました。月額30,000円、入学準備金100,000円を貸与するもので、返還開始後、市内に居住することで返還猶予でき、加えて10年以内に5年継続して市内に居住することで、返還免除ができる規定を設けています。			
----------	---	--	--	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	奨学生申請者数	各年度の新規申請人数	人	7	5	19	16	20
②	奨学生決定人数(新規)	各年度の新規の決定	人	5	5	8	7	8
③	奨学生決定人数(継続)	各年度の継続の決定	人	11	10	15	14	15
④	市内居住による返還猶予・免除者の人数	各年度の返還猶予・免除の決定	人	10	9	8	12	15

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	返還免除額(千円)				
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	市内に5年居住して免除になった方の総額			
	8,888	8,884	内容	人材育成貸付金	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般財源		4,520	0	1,540	0	2,360

事業対象	大学生(通信、専攻科、大学院及び医学過程を除く)・短大生・専門学校生(修業年限2年以上)	今年度の成果	令和5年度の返還対象者28名中12名より臼杵市内居住による猶予申請がありました。また、募集人数8名に対し申請人数は16名と、多くの申請がありました。
------	--	--------	--

成果指標	指標名	奨学金貸与終了後の市内居住者率	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	返還猶予・免除対象者になった率(過年度の返還終了者・免除者除く)		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	市内居住による返還猶予・免除の規定を設けることで、卒業後の臼杵市への定住促進を図るため。		%	45.5	34.6	33.3	42.9

評価	有効性	効率性	評価の理由	
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	経済的な理由で、能力があるにもかかわらず大学等への進学を躊躇する学生に対して、就学の機会を与えられる有効な手段であり、近年は募集人数を上回る数の申請がありました。市内居住による返還猶予及び免除を設けていることで、定住促進の点でも副次的な効果も出ています。	

事業の問題・課題	定住促進のための取組み方法を検討する必要があります。また、申請条件や返還猶予の条件などを整理する必要があります。	目標達成に向け、次年度以降の取組	・医学生・看護学生奨学資金貸付事業、夢応援教育ローン、就職支援及び移住支援の関係部署と連携をとり、情報の共有と発信を行います。 ・条例・規則の改正を検討します。
----------	--	------------------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	順調	貢献度 中	強化 施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
A - 2	総務課

事務事業名	行政経営システム運営事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	VIII-22-54	市政運営を支える基盤の強化
	施策の課題(事務事業の実施目的)	効率的・効果的で計画的な行政運営、市政への関心の向上	
	関連施策名(施策コード)	-	-

事業内容(経緯)	事務事業評価、施策評価、行財政活性化推進委員会、市民アンケートなどを活用し、施策及び事務事業のサービスを検証します。また、公共5カ年施設整備計画等の行財政活性化ツールや各課の運営計画等を、有効かつ効率的に実施できる行政経営システムを構築し、運用しています。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	市民アンケート回収率	有効回答数の割合(毎年2000通を郵送)	%	43.3	37.3	37.7	34.2	45
②	事務事業評価シート数	作成した事務事業評価シートの数	事業	142	136	133	135	140
③	行財政活性化推進委員会で評価した施策数	総合計画の施策評価対象の54施策のうち、行財政活性化推進委員会で評価を実施した施策の数	施策	0	20	19	15	15
④								

基本項目	コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	市民アンケート 1件当たりの費用(千円)				
		前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	市民アンケートの回答件数/委託費含む総事業費			
	3,339	3,540	内容	委託費、通信運搬費、印刷製本費 他	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	
	財源	一般財源	3.4	4.6		4.4	5.2	3.9			

事業対象	市民・職員	今年度の成果	外部評価として実施した、市民アンケートの実施結果や施策評価の結果を職員間で共有し、予算編成や事業計画において、市民ニーズを意識して実施できるようにしています。
------	-------	--------	---

成果指標	指標名	市民満足度 平均点	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	市民アンケートの各施策の満足度(3点満点)の平均		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	市民アンケートなどを通じて、市民ニーズを意識しながら施策、事務事業を実施することにより、市民満足度平均点の向上を図ります。		点	2.00	2.05	2.03	2.03

評価	有効性	効率性	評価の理由				
	B A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	行政評価を行い、事業内容等の公表、次年度以降の改善ができるようシステム化しているものの、構築から時間が経過し、取り組みが一部形骸化し、効果が限定的になっている部分があります。そのため実施にあたっては、分析等の一部専門性の高い部分のみ専門業者に委託して実施しており、効率的な運用に努めています。				

事業の問題・課題	外部評価を的確にとらえながら、施策や事務事業の内容の公表及び内容改善を図ることができるよう、システム化していますが、構築から時間が経過し、改善や事業の優先順位付けなどの機能が十分に発揮できていない部分があります。また、外部評価をより効果的に施策へ反映できるよう、行財政活性化推進委員会にて評価を行う施策の選定方法や回答数が減少している市民アンケートも見直しが必要です。	目標達成に向け、次年度以降の取組	外部評価の実施方法などの見直しを含め、行政評価がより効果的に事業実施、改善に繋がるよう、システムの見直しを行います。また、見直しにあわせて、システムが適切に運営できるよう職員説明会を実施します。特に、市民アンケートについては、対象者数を増やしたり、時期を変更したり、回答数の増加に努めます。
----------	--	------------------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針	
	概ね順調	貢献度 中	強化	施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
A - 3	総務課

事務事業名	業務BPR実施事業			新規・継続・単年	継続					
				ソフト・ハード	ソフト					
総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	VIII-22-54	市政運営を支える基盤の強化							
	施策の課題(事務事業の実施目的)	RPA・人工知能(AI)等の最新技術への対応することで、効率的・効果的な行政経営の実現を図るもの								
	関連施策名(施策コード)	-								
事業内容(経緯)	市役所業務のやり方の抜本的な見直しを行う事業です。すべての業務の現状を把握し、RPAやAI等のICTツールの活用や実施順序等を見直すことで、より効果的・効率的な方法での業務実施を実現します。令和3年度に全庁的に実施した業務調査の結果をもとに、BPR(ビジネスプロセス・リエンジニアリング:業務のやり方の見直し)を行っています。令和5年度は、総務課所管の職員時間外勤務の集計業務の見直しを行いました。									
行動指標(実施状況)	指標名		説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)					
	①	BPR実施業務数【累計】	業務のやり方の見直しが完了した業務の数	業務	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	
	②	BPR実施を検討した業務数	BPRの実現にむけてヒアリング等内容を確認し、検討した業務の数	業務	-	-	-	9	10	
	③									
	④									
基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	BPR実施業務1業務当たりの費用(千円)				
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計	説明・算式・引用	当該年度の事業費/BPR実施業務数				
	6,600	1,271	内容	委託	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般財源		-	-	2,200	1,271	1,200
事業対象	職員(会計年度任用職員含む)		今年度の成果	総務課所管の職員時間外勤務の集計業務を見直し、業務工程を変更、一部を自動化しました。主に管理職が関わる全庁的な業務であるため、効果を実感し、今後のRPA導入の推進への寄与も見込めます。						
成果指標	指標名	RPA・AIを活用した業務の数			単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	RPAやAI等を活用している業務の数				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	効率的・効果的な行政経営システムの実現のため、業務へのRPA・AI等の活用を図る必要があるため。			業務	1	1	5	6	10
評価	有効性		効率性		評価の理由					
	A	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	B	A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	業務の見直しを検討した結果、期待通り実現できない場合もあり、対象業務の把握が困難となっています。また、業務の見直しを行うために、現状の把握や改善案の検討が必要となり、総務課及び業務担当職員のみでの実施は困難なため、外部に委託して業務の工程見直しやRPA導入に対する効果検証を実施した上となるため、検討自体にも費用がかかります。					
事業の問題・課題	業務量調査の結果として、BPRの対象となる業務は100業務以上あります。見直しを外部へ委託した場合は多額の費用がかかる一方、職員で実施した場合は、効果的なものとなるか見込めない部分があります。費用と効果のバランスを取り、さらに、業務担当職員の負担をかけないよう、業務を見直すことができないような手法が必要です。			目標達成に向け、次年度以降の取組	BPRを3業務以上実施し、より効果が見込めるような業務の選定方法や職員それぞれで実施できるような手法を検討し、全庁的に実施できるような体制の確立を目指します。					
課長評価	進捗状況		施策への貢献度		今後の方針					
	やや遅延		貢献度 大		強化 施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。					

臼杵市 事務事業評価シート

(令和5年度実施事業)

番号	課名
A - 4	総務課

事務事業名	予約付きオンライン相談窓口事業	新規・継続・単年	新規
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	VI-19-44	情報基盤の整備
	施策の課題(事務事業の実施目的)	市民が市役所に来庁することなく相談等ができる環境を構築する	
	関連施策名(施策コード)	-	-

事業内容(経緯)	市民がインターネットから事前に予約することで市役所の担当者と確実に相談等ができる環境の構築を目指します。市民からのアクセスはメール及びSMS(ショートメッセージサービス)からURLをクリックするという簡単な接続ができるものとし、合わせてインターネットを利用することで遠方にお住まいの方も市民と同時に相談が可能となることを目指しています。			
----------	--	--	--	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	予約システムへのアクセス数	市民が予約するサイトへのアクセス	回	-	-	-	0	50
②	相談可能業務数	相談ができる業務数	業務	-	-	-	5	7
③	利用者の満足度調査	職員による聞き取り(5点満点中)	点	-	-	-	-	3.2
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	1件あたりの相談料				
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	ランニングコスト/件数			
	-	16,962	内容	委託費	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	デジタル田園都市国家交付金		-	-	-	-	-

事業対象	市民	今年度の成果	市民が利用しやすいUI(ユーザインターフェース)に配慮したシステムを構築し、相談可能業務を出来る限り増やしました。(※UI・・・利用者から見た操作画面・操作方法)
------	----	--------	---

成果指標	指標名	市民が市役所へ来庁する必要がなくなる環境を構築する	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	利用者数		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	利用者が増加することで市役所へ来庁した人が減るため	件数	-	-	-	-	-

評価	有効性	効率性	評価の理由
	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	令和6年3月18日にサービスをスタートしたため、効果的に実施していきます。

事業の問題・課題	令和6年度は利用率向上に向けた周知・広報に取り組む必要があります。また、デジタルデバインドの方に対しても利用しやすいよう努める必要があります。	目標達成に向け、次年度以降の取組	サービスの周知・広報をすることで市民の方にオンラインで相談ができることを知ってもらい、利用促進につなげます。また、デジタルデバインドの方に対しても適切に対応していきます。個別通知などにサービスを案内することや子育て支援アプリ(ちあほっと)にURLリンクを張ることで周知・広報及び利用者が利用しやすい環境を構築します。
----------	---	------------------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 大	強化
施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。			

番号	課名
A - 5	総務課

事務事業名	職員研修事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	VIII-22-54	市政運営を支える基盤の強化
	施策の課題(事務事業の実施目的)	あるべき姿である「行政のプロとして市民の視点で考え、行動する職員」を育成するため、様々な研修を効率よく受講できる体制を整備する	
	関連施策名(施策コード)	-	-

事業内容(経緯)	大分県自治人材育成センター主催の研修への参加に加え、庁内においても、政策企画を主とした連続研修のほか、公文書、財務等の行政事務の基本となる内容の研修を実施しました。また、各職場において年6回以上の人権研修の実施を推進しています。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	派遣研修参加者数	自治人材育成センター等への派遣研修の参加者数	人	84	115	150	119	130
②	独自研修参加者数	臼杵市独自で行う研修の参加者数	人	1144	865	956	1767	1200
③	人権同和職場研修	職場研修に参加した延べ参加者数	人	1993	1648	2112	1949	1700
④	必須研修の受講率	階層別研修の対象者のうち参加した割合	%	77	92	89	86	90

基本項目	コスト	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	1人当たり研修費用額				
		前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	研修に係る事業費/一般職員数(年度当初時点)			
	1,857	2,636	内容	報償費、旅費、負担金等	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般財源			2,195	2,924	4,775	6,851	7,500

事業対象	職員	今年度の成果	公文書、財務事務について、全職員を対象とした研修を実施し、事務の平準化を図るきっかけとなりました。近年増加しつつある年度途中からの中途採用者に向けての内部研修の実施ができました。
------	----	--------	---

成果指標	指標名	職員に対する苦情件数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	市民課広聴窓口寄せられる職員に対する苦情受付件数		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	市民サービスへと還元されるために、職員の資質向上として研修を行っているため		9.00	6.00	6.00	7.00	5.00

評価	有効性	効率性	評価の理由	
	B A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	B A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	対象人数が多いほど、業務時間内に実施する際は通常業務との調整が必要となります。今年度は対象幅が広い必須研修が多く、一部の職員には過度な負担となってしまった可能性があります。実施方法やタイミングについて、検討する余地があります。	

事業の問題・課題	一部の研修について、休日対応としたことに対する職員の反発意見が多く見られました。また、監督職/管理職への昇任を希望しない職員も徐々に増加しており、職員の資質向上に対するモチベーション維持のための人事体制との連動を考える必要があります。	目標達成に向け、次年度以降の取組	効率的な研修実施の手法や、庁内研修の優先順位の整理を行う必要があります。
----------	---	------------------	--------------------------------------

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 大	強化 施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
A - 6	財務経営課

事務事業名	市営駐車場運営事業			新規・継続・単年	継続					
				ソフト・ハード	ソフト					
総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	IV-10-16	商業の経営基盤強化及び中心市街地活性化							
	施策の課題(事務事業の実施目的)	市街地に自動車で来訪する者の利便を図ること								
	関連施策名(施策コード)	-								
事業内容(経緯)	市営駐車場として、下屋敷前駐車場(48台)と畳屋町駐車場(15台)の2か所に設置し、時間貸駐車場として運営しています。料金収受については、外部に委託しています。									
行動指標(実施状況)	指標名		説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)					
	①	利用台数		台	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	
	②	駐車料金		千円	3,802	3,327	4,076	5,119	6,262	
	③	経費の削減	事業費	千円	4,396	4,401	4,465	5,017	6,140	
	④									
基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	1台あたりのコスト				
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計	説明・算式・引用	年間コスト÷利用台数 単位:円				
	4,465	5,017	内容		数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源			95.7	99.8	98.5	96.6	96.6
事業対象	市街地へ来訪する市民や観光客など		今年度の成果	新型コロナウイルス感染症が、5類となったことから、経済活動が活発化したことに伴い、駐車場利用台数も増え、駐車料金の増加に繋がっています。						
成果指標	指標名	利用台数			単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	利用台数				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	臼杵市中心部における活性化や利便性の向上を図るため、その利用台数を目安として指標を設定しました				台	45,951	44,113	45,310	51,914
評価	有効性		効率性		評価の理由					
	A	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A	A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	収支は若干の黒字に転換しました。新型コロナウイルス感染症が5類となり、経済活動が活発化したことから、駐車場利用数が増え、料金の増加に繋がっています。					
事業の問題・課題	今年度は若干の黒字となり、効果的な運用ができていますが、今後、施設の維持管理において改善が必要です。			目標達成に向け、次年度以降の取組	収支の単年度黒字を図りつつ、運用面等での改善に取り組みます。					
課長評価	施策への貢献度		今後の方針							
	順調	貢献度 大	向上	施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。						

番号	課名
A - 7	秘書・総合政策課

事務事業名	地域公共交通対策事業		新規・継続・単年	継続
			ソフト・ハード	ソフト
総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	VI-17-37	公共交通の利便性の向上	
	施策の課題(事務事業の実施目的)	市民の外出機会と安全な移動手段の確保		
	関連施策名(施策コード)	-		

事業内容(経緯)	市民生活の利便性確保や交通空白地域の解消を目的に、コミュニティバス9路線の運行及び地域住民の生活や学生の通学などに欠かせない民間バス路線維持のための支援を行っています。			
----------	--	--	--	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	市内循環線乗車率	1便(片道)あたり平均乗車人数	人	3.3	3.5	3.4	3.8	3.6
②	市内循環線を除くコミュニティバス乗車率	1便(片道)あたり平均乗車人数	人	1.3	1.1	1.0	1.1	1.4
③								
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	生活交通路線補助					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	白三線の補助額				
	44,825	46,011	内容	委託料、補助金	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	国、県補助金			19,425	19,404	21,260	19,508	19,000

事業対象	公共交通の利用者	今年度の成果	自ら交通手段を確保できない方の外出機会を保障するため、公共交通の維持に努めました。 【利用者数】コミュニティバス:12,456人 白三線:32,043人
------	----------	--------	---

成果指標	指標名	コミュニティバス利用者数(デマンドタクシー含む)	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	コミュニティバス全路線		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	市民の外出機会と安全な移動手段の確保を目的としているため		人/年	9,711	9,654	9,983	12,456

評価	有効性	効率性	評価の理由	
	B A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	C A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	期待通りの乗車が得られていない路線もありますが、高齢化が進み、自家用車を手放した際の交通手段について不安を抱えている世帯・地域が多いため、地域の特性に合った公共交通の整備・維持が必要となります。 利用者が減少していく中で、財政負担は増加傾向にあります。引き続き地域住民の方々と一緒になった路線見直しを行うことで、効率的な運行方法に改善していく必要があります。	

事業の問題・課題	人口の減少や自家用車の普及により、利用者が年々減少していることに加え、新型コロナウイルスの影響により、利用者は大幅に減少しました。交通空白地帯の解消や利用者の生活の利便性維持という側面が強く、一概に費用対効果を追求することはできませんが、公共交通を確保しつつ、財政負担を抑制する仕組みづくりが必要です。	目標達成に向け、次年度以降の取組	利用者増加のためには、交通事業者の運転手不足、運転手の高齢化を考慮しながら、路線の見直し等を行い、効率的な交通網の構築を行う必要があります。また市民の移動を支えるためには、従来の公共交通サービスを最大限活用した上で、地域における輸送資源を総動員する取り組みを検討します。
----------	---	------------------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 大	強化
施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。			

臼杵市 事務事業評価シート

(令和5年度実施事業)

番号	課名
A - 8	秘書・総合政策課

事務事業名	ふるさと納税促進事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	VII-22-54	市政運営を支える基盤の強化
	施策の課題(事務事業の実施目的)	ふるさと納税の推進により、自主財源の確保及び返礼品を通じた地場産業の活性化を図る。	
	関連施策名(施策コード)	IV-11-22	うすきブランドの強化と6次産業化の推進

事業内容(経緯)	ふるさと納税を頂いた方へ感謝の気持ちとして臼杵市の特産品をお届けすることで、市のPRや地域活性化を図るとともに、頂いた寄附の中から謝礼品費や事務費を除いた金額を市の事業に活用し、魅力的なまちづくりに取り組んでいます。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	謝礼品数	臼杵市へ寄附していただいた方へ進展する特産品の品目数	品目	325	412	448	483	500
②	PR回数	市報やイベントなどでPRした回数	回	9	7	12	9	15
③	ポータルサイトの数	寄附を受け付けるサイトの数	件	3	6	8	8	8
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	寄附受入額に対するコスト割合				
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計	説明・算式・引用	事業費/寄附受入額(%)				
	309,262	332,935	内容	ふるさと納税事業	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般		51.9%	50.9%	46.9%	53.0%	50.0%

事業対象	市外の寄附者及び市民	今年度の成果	頂いた寄附を活用し、更なる市の活性化・魅力向上に取り組むことができました。 令和5年度 寄附金額628,514千円、寄附件数31,203件 令和4年度 寄附金額659,497千円、寄附件数33,119件
------	------------	--------	---

成果指標	指標名	ふるさと納税申込件数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	臼杵市へのふるさと納税寄附申込件数		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	ふるさと納税を通して臼杵市を応援してくれた数を数値化したもので、比較が容易であるため。		件	39,589	31,610	33,119	31,203

評価	有効性	効率性	評価の理由	
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	イベントを通じた市のPRにより”臼杵ファン”の獲得につながるとともに、いただいた寄附金は臼杵市のまちづくりの財源として産業促進へ繋がるため、有効な施策であると考えます。	

事業の問題・課題	新規寄附者はもちろんリピーターの獲得を目指し、謝礼品、使い道、イベントなどのツールを最大限に活用し、引き続き市の魅力向上を図るとともに、寄附金だけでなく臼杵ファンを増やしていくための効果的なPRの方法を検討する必要があります。	目標達成に向け、次年度以降の取組	ふるさと納税市場の調査を行いながら謝礼品提供事業者と協力してより魅力的な謝礼品の開発に努めるだけでなく、使い道実績の更なる発信や寄附者との直接的な交流イベントを通じて、臼杵ファンの獲得にも尽力します。
----------	---	------------------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 大	強化 施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
A - 9	秘書・総合政策課

事務事業名	高校生バス通学用定期券購入助成事業		新規・継続・単年	継続
			ソフト・ハード	ソフト
総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	V-12-25	教育環境の整備・充実	
	施策の課題(事務事業の実施目的)	臼杵市の将来を担う人材を市内の高校で育てること、また公共交通の維持、地域活性化を図ることを目的とします。		
	関連施策名(施策コード)	VI-17-37	公共交通の利便性の向上	

事業内容(経緯)	市内の子どもたちが、できるだけ市内の高等学校に通うことができるよう、通学補助として購入した定期券の金額からその適用期間1ヶ月につき1万円を控除した額の全部を補助します。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	バス通学用定期券購入助成人数	1万円を超える金額の定期券/月の購入者数	人	34	26	30	36	35
②								
③								
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	バス通学用定期券購入助成額					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	(1万円を超える金額の定期券/月-1万円/月)×12ヶ月				
	3,480	3,916	内容	高校生バス通学用定期券購入助成金	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	地方債			3,641	3,071	3,480	3,916	4,500

事業対象	バス通学用定期券購入助成者	今年度の成果	臼杵市の将来を担う人材を臼杵で育てるため、市内2つの高校に通う遠距離バス通学生に対し通学支援を行いました。 令和5年度助成人数:36人
------	---------------	--------	--

成果指標	指標名	野津地域から臼杵市内の高校に通学する生徒数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	各年度の野津中卒業者のうちの臼杵高校及び海洋科学学校への進学者数		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	臼杵市の将来を担う人材を市内の高校で育てることを目的としているため		人	9	9	13	14

評価	有効性	効率性	評価の理由	
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	野津地域から大分市内への通学費用と比べると大きな差がありましたが、助成により臼杵市内への通学費用の負担が大分市内への通学費用と同程度となりました。 また、各申請者に対してではなく、定期券販売業者への差額分を支払う形としているため事務の効率化が図られているとともに、臼三線や割後場線の利用にも繋がっており、路線の維持が効率的に図られています。	

事業の問題・課題	野津地域から臼杵市内の高校に通う全ての子ども達がバスを利用しているわけではありません。さまざまな理由が考えられますが、できるだけ多くの子供たちがバスで通学できる環境整備を行う必要があります。	目標達成に向け、次年度以降の取組	利用する高校生にアンケート調査等を行い、大分県、豊後大野市とともに、より利用しやすい運行方法の検討とあわせて、路線維持に向けた効率的な運行となるようなダイヤの再編についても協議します。
----------	---	------------------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	順調	貢献度 大	向上 施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。

番号	課名
A - 10	秘書・総合政策課

事務事業名	夢応援教育ローン利子補給金事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	V-12-25	教育環境の整備・充実
	施策の課題(事務事業の実施目的)	家庭の経済状況が子どもたちの学力に大きく影響を与えていると言われるなか、近年、教育費の負担軽減施策の拡充が求められています。	
	関連施策名(施策コード)	I-2-3	安心して産み育てるための支援

事業内容(経緯)	将来を担う人材を育てるとともに、子育て世代への手厚い支援により定住化を進めることを目的に、市と契約した金融機関から借り入れる教育ローン(融資限度額300万円、利子補給期間10年以内)にかかる利子を市が補給します。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	資格認定申請者数	申請者数(累計)	人	53	75	94	109	154
②	広報回数	市報・HP、臼杵駅や市内高校、公共施設へのポスター掲示やチラシ配布、CATVによる広報	回	9	9	9	9	9
③	利子補給額	借入資金(限度額300万円)の年利2%まで利子補給、利子補給期間10年以内	千円	1,552	1,973	2,511	3,456	3,841
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	利子補給金額					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	月末残高(千円)×利子補給金率×1/12(ひと月分の計算式)				
	2,511	2,983	内容		コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源				1,552	1,973	2,511	3,456	3,841

事業対象	大学生、短期大学生、専門専修学校生の子どものために教育ローンを借り受ける市内居住の保護者	今年度の成果	令和5年度は、15名の申請で資格認定14名の見込みです。平成28年度から令和5年度までの累計認定者数は97名です。
------	--	--------	---

成果指標	指標名	借入認定者数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	認定者数(累計)		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	経済的な理由で進学を断念することがないよう保護者の負担軽減と人材育成を目的としているため		人	47.00	65.00	83.00	97.00

評価	有効性		効率性		評価の理由				
	A	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	B	A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	利子補給により保護者の経済的負担が軽減され、子どもが十分な教育を受けることができますが、取扱金融機関が大分県信用組合野津支店のみのため、手続する際の利便性がやや劣ります。				

事業の問題・課題	取扱金融機関が大分県信用組合野津支店のみであることが、臼杵地域の住民にとっては手続き上不便であるといえます。	目標達成に向け、次年度以降の取組	申請や借入手続きの利便性向上につながる取組について大分県信用組合と協議を検討します。
----------	--	------------------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針	
	概ね順調	貢献度 中	強化	施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
A - 11	地域力創生課

事務事業名	地域振興協議会事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	II-5-10	地域内交流・地域間交流
	施策の課題(事務事業の実施目的)	少子高齢化や人口減少に伴う、地域活動の衰退や交流の希薄化に歯止めをかけるため、旧小学校区単位に「地域振興協議会」の設立を推進し、その活動を様々な面で支援しています。設立後は、地域活動の担い手確保や後継者の育成のほか、自主財源の確保などに取り組みます。	
	関連施策名(施策コード)	II-5-10	地域内交流・地域間交流

事業内容(経緯)	地域振興協議会は、地域の様々な活動団体を一つの組織と捉えたものであり、地域内の団体が世代や立場等の枠を超えて連携することで、それぞれの活動がさらに活性化し、地域の一体感や日常生活での安心感を作りあげることが目的としています。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	地域振興懇談会、ブロック別連絡会の開催回数	懇談会年2回、ブロック別連絡会年6回(臼杵・野津)開催予定	回	0	0	4	14	8
②	協議会拠点施設の整備箇所数	専用の協議会拠点施設がある協議会数	箇所	16	16	16	16	16
③	助成金の交付金額	地域の活動内容に対する助成金額	千円	4,789	7,121	9,933	9,520	12,600
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	指定管理料等 1地区当たりの費用(千円)					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	指定管理料・集落支援(連絡事務所含)事務委託料/18地区				
	83,605	139,416	内容	需要費、役務費、委託料他	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	地方債、一般財源			2,263	2,586	2,762	3,151	3,500

事業対象	市民	今年度の成果	昨年度に引き続き、地域環境整備事業により、環境美化や名所等の維持保全を推進しました。また、アフターコロナに向けて地域活動の回復および新規事業の開催のほか、地域振興懇談会やブロック別連絡会の実施により、地域間の連携強化を図ることができました。
------	----	--------	--

成果指標	指標名	自主財源確保事業取組み数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	臼杵市地域コミュニティ事業助成金を活用して自主財源確保事業を実施した協議会数		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	持続可能な地域活動をしていただくために、補助金に頼らない運営方法を探る必要があり、自主財源確保はその一つの重要な取組みであるといえるため。	箇所	1	2	2	2	5

評価	有効性	効率性	評価の理由				
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	高齢化率が40%を超える臼杵市の現状を考えると、地域力の維持向上や地域内のつながりの希薄化を解消するために、地域内の支え合い、助け合いが求められています。地域振興協議会という旧小学校区単位を包括する地域活動の母体ができ、これまで個別に活動していた複数の地域団体が連携しながら地域活動に取り組むことができ、地域活動の充実や地域の活性化につながっています。また、子どもやお年寄りの見守りや健康増進など、様々な面で行政機能を補完していく可能性が大きく、行政サービスの効率を高めることとなります。				

事業の問題・課題	地域活動が活発化する一方で、地域活動を担う人材の育成や地域の自立に向けた自主財源の確保などが課題となっています。課題は地域ごとに異なるため、各地域との交流を通じ、解決策について地域とともに考えていく必要があります。	目標達成に向け、次年度以降の取組	各地域振興協議会が集まる地域振興懇談会やブロック別連絡会を開催して、地域活動の担い手の確保や後継者の育成など、共通する課題の共有を図りつつ、それぞれの実情に合わせた解決策を検討していきます。また、連絡事務所、コミュニティセンター、地区公民館などの拠点施設の在り方を見直し、コミュニティセンター化を含めたスムーズな運営体制の構築を目指します。
----------	---	------------------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針	
	概ね順調	貢献度 大	強化	施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
A - 12	地域力創生課

事務事業名	移住定住対策事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	II-6-11	「うすき暮らし」の推進
	施策の課題(事務事業の実施目的)	起業、就業の機会の創出による若者世代の定住促進、UIターン及び定住促進のサポート体制の受け皿不足、有効活用できる空き家の掘り起こしとマッチング対応の遅れ、効果的な「うすき暮らし」の情報発信	
	関連施策名(施策コード)	I-2-3 II-5-10	安心して産み育てるための支援 地域内交流・地域間交流

事業内容(経緯)	流入人口及び定住人口の増加をめざし、福岡、東京など都市部における移住相談会への積極的な参加と情報発信を行いました。また、主に子育て世帯を対象として、うすき暮らしを体験してもらうためのおためしハウス新設、臼杵での暮らしをイメージしてもらうための分野ごとのオンライン移住イベント、移住後の安定した暮らしにつなげるための市内交流ツアーや移住者交流会を実施するなど、多様な移住支援体制の充実を図りました。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	移住相談会・フェア出展回数	都市部で開催される相談会、フェア等への年間の出展回数	回	10	6	15	7	15
②	移住希望者向けモニターツアーの参加者数	移住希望者向けモニターツアー参加者の累計人数	人	7	3	3	1	10
③	移住相談件数	移住定住総合窓口として、対応した相談件数	件	400	410	410	420	400
④	移住補助制度利用世帯数	移住補助制度を利用した世帯数	戸	104	106	102	114	110

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	1件あたりの事業費				
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	事業費(千円)/補助金利用件数(※世帯延べ数)			
	104,231	75,739	内容	定住促進事業補助金ほか	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	財源	県費・単費・起債	584	647		671	606	272		

事業対象	市民及び移住希望者	今年度の成果	田舎暮らしの本「住みたい田舎ベストランキング(人口3~5万人のまち)」において、総合部門及びシニア世代部門で第2位を受賞し、臼杵市の魅力を全国に広くアピールすることができました。令和5年度移住者数:114世帯246人
------	-----------	--------	--

成果指標	指標名	移住者数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	移住者居住支援事業申請において把握した年間移住者数(単年度)		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	移住施策の効果を図る指標として、実際に臼杵市に移住した人数を設定するのが妥当だと考えるため。	人	231	226	211	246	230

評価	有効性	効率性	評価の理由
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	居住環境等に対する助成制度の充実を図るほか、暮らしやすさ、自然環境、安心安全な食などの臼杵の魅力を広く発信することで、移住者増につながりました。大分県や移住経験者等との円滑な連携により、少ないコストで効率的に効果を出すことができています。

事業の問題・課題	「住みたい田舎ベストランキング」に7年連続で上位入賞するなど継続的な移住支援の成果が表れています。一方で人口流出が課題としてあり、移住後の仕事や生活への不安を軽減するための取組みが必要となります。	目標達成に向け、次年度以降の取組	移住フェアやオンライン説明会など積極的に実施し、県外からの移住が好調です。引き続き、子育て世帯をメインターゲットとした企画や施策のほか、企業と連携した職業紹介及びあつせんによる働き場の確保を図るなど、移住定住を促進します。
----------	--	------------------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	順調	貢献度 大	向上 施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。

番号	課名
A - 13	地域力創生課

事務事業名	地域おこし協力隊(一般隊員)		新規・継続・単年	継続
			ソフト・ハード	ソフト
総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	II-6-11	「うすき暮らし」の推進	
	施策の課題(事務事業の実施目的)	都市部の人材を地域社会の新たな担い手として受け入れ、地域力の維持・強化を行う		
	関連施策名(施策コード)	II-5-10	地域内交流・地域間交流	

事業内容(経緯)	人口減少等の課題を抱える地方の自治体が、都市部の人材を地域社会の新たな担い手として受け入れ、地域力の維持・強化を図る国の制度です。臼杵市では平成26年度から採用を始め、令和5年度は4名が活動しました(有機隊員2名、一般隊員2名)。
----------	---

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	地域おこし協力隊受入れ人数	地域おこし協力隊(一般隊員)活動隊員数(単年)	人	6	4	4	3	4
②	地域と地域おこし協力隊とが協働で行った活動、催し件数	各隊員が関係した地域活動、定住促進・地域振興イベントの年間開催件数(単年)	件	57	80	18	60	80
③								
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	地域おこし協力隊活動費(単位:千円)					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計	説明・算式・引用	活動費(旅費+需用費+役務費+器具費)					
	2,392	3,615	内容	報償費以外、および募集に関する費用	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般財源など			1,315	1,107	1,163	1,591	1,600

事業対象	市民・地域・市役所	今年度の成果	臼杵の魅力発掘や情報発信により、市内外に向けて臼杵の地域資源やうすきでの暮らしの状況を周知しました。また、臼杵市内での地域振興イベントだけでなく、市外向けに発信する観光イベントでも活動を行いました。※令和5年度活動隊員(一般):地域づくり事業担当2名
------	-----------	--------	---

成果指標	指標名	定住した隊員数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	地域おこし協力隊員を卒業した者が臼杵市に定住した数(全隊員累計)		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	起業補助金などを通じて、協力隊の定住を図ることが地域力の維持・強化につながるため		人	9	10	13	14

評価	有効性	効率性	評価の理由	
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	これまでになかった視点での地域資源を活かしたイベント企画や情報発信、地域団体の支援など、地域づくりに積極的に取り組んでおり、これらの活動が住民にとっても地域の魅力や良さを再発見することにつながっている。また、今年度は退任した2名に起業補助金を支出、隊員の定住と臼杵市での起業へとつなげることができた。	

事業の問題・課題	今後も引き続き、協力隊自身の定住につながるための支援はもちろん、募集段階から業務内容についての検討を綿密に行う必要がある。また、活動内容の更なる充実や退任後のスムーズな定着を図るとともに、隊員と地域、市それぞれによりメリットのある活動や支援をしていく必要がある。	目標達成に向け、次年度以降の取組	令和5年度の協力隊採用にあたっては、大分県や協力隊サポートチームと連携して協力隊の採用プロセスの見直しを図り、セミフリーミッションにて採用した。協力隊の能力や経験を活かし、更に地域の活性化や退任後の定住につなげるため、引き続ききめ細かなサポートを行っていく。また、任期終了後は臼杵に定住するケースも増えており、起業や就農、就職など様々な形で地域の活性化に貢献している。さらに隊員が起業・定住できるための支援策も整備しており、任期中に定住を見据えた活動ができるような環境を作っている。
----------	---	------------------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 中	強化 施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。

番号	課名
A - 14	地域力創生課

事務事業名	空き家対策事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	VI-18-41	快適な住環境の確保
	施策の課題(事務事業の実施目的)	起業、就業の機会の創出による若者世代の定住促進、UIターン及び定住促進のサポート体制の受け皿不足、有効活用できる空き家の掘り起こしとマッチング対応の遅れ、効果的な「うすき暮らし」の情報発信	
	関連施策名(施策コード)	II-6-11	「うすき暮らし」の推進

事業内容(経緯)	空き家の有効活用を図りながら定住を促進する「臼杵市空き家バンク」を運営し、空き家を貸したい・売りたい人と空き家を借りたい・買いたい人のマッチングを行います。移住希望者及び市内居住者への空き家バンク制度の利用案内による空き家活用の促進や空き家バンク物件の改修に対する支援補助を行なうとともに、360度画像で内覧可能な「空き家バンクVRシステム」を活用して利用促進に努めています。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	空き家バンク物件登録数	空き家の登録件数(累計)	件	304	354	392	429	543
②	空き家改修補助金利用件数	改修補助金の利用件数(累計)	件	90	121	139	156	180
③	空き家活用促進補助金利用件数	仲介手数料、家財処分費、成約奨励金の利用件数(累計)	件	201	280	326	390	380
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	1件あたりの事業費				
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	事業費(千円)÷補助金利用件数(※世帯延べ数)			
	15,155	15,133	内容	空き家活用・改修制度補助金事業	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	国費・県費・単費・起債		112	119	64	229	92

事業対象	市民及び移住希望者	今年度の成果	利用可能な空き家の活用が進み、移住者の受入れ先になるとともに、市民の安全、快適な住環境整備を進めることができました。 【令和5年度】登録件数37件(累計429件) 成約件数38件(累計301件)
------	-----------	--------	--

成果指標	指標名	移住者数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	移住者居住支援事業申請において把握した年間移住者数(単年度)		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	移住施策の効果を図る指標として、実際に臼杵市に移住した人数を設定するのが妥当だと考えるため。	人	231	226	211	246	230

評価	有効性	効率性	評価の理由				
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	登録件数等のほか、改修補助や活用促進補助の利用件数も増加しており、定住人口の増加につながっています。未だ活用できていない空き家も多いため、継続的に制度を周知する必要があります。空き家バンクの運営にあたっては、専門知識を有する宅地建物流通センターとの連携を図っていることから、登録件数、成約件数ともに増えており、効率的な運営ができています。				

事業の問題・課題	個人の財産となる空き家等の建物について所有者の管理責任を第一義にとらえ、空き家活用の各種支援制度の周知を図り、空き家バンクの利用促進や、空き家の有効活用を図るための物件掘り起こしを推進するための体制強化が必要となっています。	目標達成に向け、次年度以降の取組	空き家相談会を年2回開催し、ケーブルテレビや市報等で周知を図っていきます。年度始めの固定資産税通知書に、空き家バンク制度のチラシを同封し、積極的に地域振興協議会等を通じて地域へ周知を行うとともに、実際に地域に出て行って物件の掘り起こしができるように、民間との連携の可能性も含めた体制の検討を進めていきます。
----------	--	------------------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	概ね順調	貢献度 大	強化
施策に対する貢献度が大きいですが、効果・効率性に改善の必要があるため、現状の事務事業を強化します。			

番号	課名
A - 15	地域力創生課

事務事業名	新婚生活応援事業		新規・継続・単年	継続
			ソフト・ハード	ソフト
総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	II-6-11	「うすき暮らし」の推進	
	施策の課題(事務事業の実施目的)	起業、就業の機会の創出による若者世代の定住促進、UIJターン及び定住促進のサポート体制の受け皿不足、有効活用できる空き家の掘り起こしとマッチング対応の遅れ、効果的な「うすき暮らし」の情報発信		
	関連施策名(施策コード)	I-2-3	安心して産み育てるための支援	
		VI-18-41	快適な住環境の確保	

事業内容(経緯)	人口減少、少子高齢化対策として、若年世代の定住世帯の増加を図るため、若年新婚世帯に対して、仲介手数料、引越費用、家賃の補助及び結婚祝品として商品券を贈呈しました。また、補助金の利用を促進するために、SNSや市報を活用し、周知を図りました。
----------	---

行動指標(実施状況)	指標名	説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
①	新婚生活応援補助金利用促進	補助金利用を促進するために市報等でPRを行った回数	回	1	11	9	2	20
②	不動産会社等の民間企業への周知	民間企業へチラシ配布等で周知した回数	回	1	1	0	0	3
③								
④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	1件あたりの事業費				
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	事業費(千円)÷補助金利用件数(※世帯数)			
	8,341	10,032	内容	新婚生活応援補助金	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	国費・県費・単費・起債		235	205	228	401	368

事業対象	市内在住者	今年度の成果	25戸の新婚世帯から結婚祝品の交付申請があり、定住数の増加につながっています。(交付実績:25戸)
------	-------	--------	---

成果指標	指標名	新婚生活応援補助金申請者数	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	新婚世帯結婚祝品の交付申請数		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	若年世帯の定住を図る指標として、臼杵で婚姻し、定住を誓約する人数を設定するのが妥当だと考えるため。		戸	17	25	36	25

評価	有効性	効率性	評価の理由
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	初期費用や民間賃貸住宅の家賃を補助することで、若年世代の新婚生活の負担を軽減することができます。利用促進にあたり、市民課及び市民生活推進課、宿直と連携し、婚姻届を提出した際に、補助制度の説明を行うなど、少ないコストで効率的に効果を出すことができます。

事業の問題・課題	補助制度について、広く周知するために市報および臼杵市公式LINE等のSNSをさらに活用する必要があります。また、補助内容が定住促進につながっているか利用状況等を分析する必要があります。	目標達成に向け、次年度以降の取組	市HPの掲載記事の更新や市民に分かりやすいページ作りを行います。また、臼杵市公式LINEやFacebook等での周知や市外の不動産業者やブライダル関連業者などのチラシ配布等による周知も併せて行います。
----------	--	------------------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	順調	貢献度 中	向上
施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。			

番号	課名
A - 16	防災危機管理課

事務事業名	防災カメラ機器更新事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ハード

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	Ⅲ-8-14	防災・減災のための環境整備
	施策の課題(事務事業の実施目的)	既設の防災カメラ及び関係機器の更新の必要があります。	
	関連施策名(施策コード)	-	-

事業内容(経緯)	災害時に浸水が予想される箇所や主要河川などの状況の映像を安定的に配信・記録するため、既存防災カメラ及び付帯機器の経年劣化に伴う機器更新を行うものです。令和2年度までに17箇所のデジタル化が完了しており、4箇所を新設計計21箇所のカメラを整備しています。令和3年度以降は21箇所のカメラの更新及び付帯機器の更新を行います。			
----------	--	--	--	--

行動指標(実施状況)	指標名		説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画				
	①	防災カメラ機器更新箇所数	各年度ごとの更新箇所数	カ所	3	0	2	2	2
	②								
	③								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	カメラ1台あたりにかかる経費					
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	更新工事費/カメラ21台				
	6,930	6,806	内容	工事費	コスト指標(単位当たりの費用)	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	一般財源			540	201	330	325	325

事業対象	臼杵市民	今年度の成果	柿ノ浦、黒丸に設置している2箇所の防災カメラを更新し、より鮮明な映像を配信・録画することが可能となりました。
------	------	--------	--

成果指標	指標名	防災カメラ機器更新率	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	更新が完了したカメラ/全21箇所		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	長期計画に沿って計画的に更新することとしているため	%	0	0	9.52	19.04	28.57

評価	有効性	効率性	評価の理由	
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	市ホームページやケーブルテレビを通じて平常時、災害時の市内の状況を公開しているが、避難行動の目安になるなど大きな役割を持っている。また、職員についても、直接現場に出向くまでに映像を介して確認することができる等、効率よく業務に役立てることができている。	

事業の問題・課題	市場の影響により、価格や部品等の納入に影響を受ける可能性があります。	目標達成に向け、次年度以降の取組	安定した画像の配信については、継続して目指していきませんが、カメラの規格等については検討します。
----------	------------------------------------	------------------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	順調	貢献度 大	向上 施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。

番号	課名
A - 17	防災危機管理課

事務事業名	防災用備蓄品購入事業			新規・継続・単年	継続					
				ソフト・ハード	ソフト					
総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	Ⅲ-8-14	防災・減災のための環境整備							
	施策の課題(事務事業の実施目的)	大規模災害が発生した際、支援物資が届くまでの間の避難者が最低限必要とする主食、飲料水を中心に計画的に備蓄を行います。								
	関連施策名(施策コード)	-								
事業内容(経緯)	令和5年度は、主食(アルファ化米、パン)、飲料水等の賞味期限がある品目を中心に、計画的な備蓄を行いました。南海トラフ地震に伴う被害想定より、18,000名の避難者の3日分の物資が必要と考えています。									
行動指標(実施状況)	指標名		説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)					
					R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画	
	①	備蓄数(主食)	アルファ米・レトルトパウチ・パン等	食	31,542	43,662	45,340	55,310	55,000	
	②	備蓄数(飲料水)	ペットボトル保存水	ℓ	24,294	29,928	32,268	35,268	37,000	
	③									
基本項目	事業費の経緯(千円)	当該年度の事業費の内容		指標名	避難者1名分の1日あたり備蓄(主食・飲料水)費					
		前年度(R4)	当該年度(R5)		会計	一般会計	説明・算式・引用	事業費÷55,000人		
	5,096	4,833	内容		数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源			-	-	0.1	0.1	-
事業対象	臼杵市民		今年度の成果	賞味期限切れが生じた主食、飲料水に対して、より賞味期限の長い商品への変更を計画的に行ったことで総備蓄数を増やすことができました。						
成果指標	指標名	目標備蓄数に対する達成状況			単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	目標備蓄数に対する主食の備蓄数割合 (主食の備蓄数/目標備蓄数)				R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	主食55,000食			%	57.00	79.00	82.00	100.56	100.00
評価	有効性		効率性		評価の理由					
	A	A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A	A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	令和5年度も賞味期限の長い商品を選定するようしており、賞味期限切れによる入れ替えで生じる購入・管理等の更新作業の軽減を図っています。					
事業の問題・課題	賞味期限のある備蓄用品については、備蓄品の有効活用(賞味期限間近になった品目の配布等)を行うとともに、限られた予算の中で備蓄品充足率100%に向けて計画的に備蓄を進めていくこと、また、物資を保管するための場所を確保することが課題です。			目標達成に向け、次年度以降の取組	計画的に備蓄品の充足を進めていくとともに、備蓄品以外に流通備蓄品の確保に向け、市内外の事業所等と協定等を締結できるように取り組むとともに家庭内備蓄の呼びかけによる自主確保を啓発していきたいと考えています。					
課長評価	進捗状況		施策への貢献度		今後の方針					
	概ね順調		貢献度 中		向上		施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。			

番号	課名
A - 18	防災危機管理課

事務事業名	土砂災害ハザードマップ作成事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ソフト

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	Ⅲ-8-14	防災・減災のための環境整備
	施策の課題(事務事業の実施目的)	県により指定された土砂災害警戒区域の周知と災害時の対応の整理が必要です。	
	関連施策名(施策コード)	Ⅲ-7-12	自主的な防災活動及び防災教育の推進
		Ⅲ-7-13	防災に関する組織の育成・強化

事業内容(経緯)	大分県が指定する土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域をはじめ、避難場所や避難ルート等も明記したハザードマップを住民参加のもと作成するものです。居住地等における災害リスクの認識を高め、早期避難を促進します。
----------	--

行動指標(実施状況)	指標名		説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
					R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	①	地区住民が参画して完成した土砂災害ハザードマップの制作完了区域数	土砂災害警戒区域(累計値)	箇所	1,278	1,311	1,362	1,380	1,394
	②								
	④								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	1箇所当たりのマップ制作経費				
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計	説明・算式・引用	委託費/マップ制作箇所数				
	1,320	1,078	内容	委託費	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	国県補助金		12.3	33.3	25.8	60.0	53.9

事業対象	土砂災害警戒区域内の住民	今年度の成果	令和5年度末時点の大分県が指定した土砂災害警戒区域を示したハザードマップ作成、対象世帯への周知は全て完了しました。
------	--------------	--------	---

成果指標	指標名	土砂災害警戒区域を示したハザードマップの制作率	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	制作した図面/土砂災害警戒区域(年度毎)		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	最新データのハザードマップ	%	100	100	100	100	100

評価	有効性	効率性	評価の理由	
	A A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	新たに指定される土砂災害警戒区域のハザードマップ作成作業を契機に、地区住民の防災意識の向上につながっています。	

事業の問題・課題	土砂災害警戒区域等を表示するハザードマップの制作・周知は、市町村の責務として定められています。現在、臼杵市総合版防災マップの整備により、土砂災害情報のみが記載された防災マップの他、臼杵市総合版防災マップ(洪水、土砂災害、高潮、地震、津波)が整備されていることにより、毎年更新している土砂災害情報のみが記載されたマップの閲覧利用が減少しています。	目標達成に向け、次年度以降の取組	マップの制作は義務付けられているため継続しますが、今後の有効な活用や総合版防災マップとの連携や更新頻度などについて検討する必要があります。
----------	--	------------------	---

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針
	順調	貢献度 中	向上
施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。			

番号	課名
A - 19	防災危機管理課

事務事業名	災害情報ボックス設置事業	新規・継続・単年	継続
		ソフト・ハード	ハード

総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	Ⅲ-8-14	防災・減災のための環境整備
	施策の課題(事務事業の実施目的)	災害時には避難所等でスマートフォンなどを活用して情報収集や安否確認を行うことが想定されますが、携帯電波が不通の場合などに備え別系統のネット回線が必要です。	
	関連施策名(施策コード)	-	-

事業内容(経緯)	臼杵市指定避難所において災害時に使用できる、インターネット回線(Wi-Fi環境)及びテレビ(CATV)視聴環境を整備し、避難者が災害情報など取得できる環境を整備します。本年度の事業で主要な指定避難所等への設置が完了します。			
----------	---	--	--	--

行動指標(実施状況)	指標名		説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画				
	①	災害情報ボックス設置数	設置箇所数	箇所	20	20	25	30	30
	②								
	③								

基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	一カ所当たりの設置費用				
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計		説明・算式・引用	設置工事費/設置箇所			
	6,050	6,208	内容	工事費	数値の推移	R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
			財源	起債		-	-	1,210	1,242	-

事業対象	臼杵市民	今年度の成果	災害情報ボックスを計5箇所に新規で設置し、災害時に避難所の利用者が避難スペースなどで利用できるように整備しました。
------	------	--------	---

成果指標	指標名	避難所での設置率	単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	14優先開設避難所の設置率		R2実績	R3実績	R4実績	R5実績	R6計画
	指標設定の理由	特に必要となる避難所への進捗率は住民の利便性向上に直結します。		%	60.0	60.0	93.3	100.0

評価	有効性	効率性	評価の理由	
	B A:期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A A:効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	CATV回線(有線)を使用し携帯回線(無線)とは異なるネット環境を整備します。いずれかの環境が使用できる想定であり、災害時によっては、両回線使用できなくなる場合も考えられますが、ネット回線使用料などのランニングコスト等が不要のため、効率性は高い事業と考えます。	

事業の問題・課題	本年度で予定している箇所への設置は完了しました。今後は、災害時に有効活用するため、機器の点検や接続に関する方法を避難所を担当職員や設置している施設の関係者へ周知する必要があります。	目標達成に向け、次年度以降の取組	機器の点検、接続方法の周知、追加箇所の検討などを中心に継続して取り組みます。
----------	--	------------------	--

課長評価	進捗状況	施策への貢献度	今後の方針	
	順調	貢献度 大	完了	今年度、事務事業が完了しました。

番号	課名
A - 20	市民生活推進課

事務事業名	吉四六まつり補助事業			新規・継続・単年	単年					
				ソフト・ハード	ソフト					
総合計画(施策評価)との関連	施策名(施策コード)	IV-09-15	観光資源の磨き上げと創出							
	施策の課題(事務事業の実施目的)	実施主体の高齢化、担い手不足								
	関連施策名(施策コード)	V-15-32	市民の文化・芸術活動の活性化及び伝承							
事業内容(経緯)	吉四六まつりに対する補助事業です。令和5年度より桜の開花時期にあわせた3月最終日曜日に開催し、地元の伝統芸能継承等を目的に、神楽・獅子舞・太鼓などをステージで披露します。野津町商工会員を中心とした実行委員会が主催する地域住民主導によるイベントです。									
行動指標(実施状況)	指標名		説明・算式・引用	単位	数値の推移(総合計画の期間内)					
	①	全種目に対する伝統芸能の演目割合	伝統芸能の演目/全項目/100	%	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 計画	
	②	市職員の動員数	当日の職員動員数	人	中止	中止	中止	12	12	
	③									
	④									
基本項目	事業費の経緯(千円)		当該年度の事業費の内容		指標名	補助金額				
	前年度(R4)	当該年度(R5)	会計	一般会計	説明・算式・引用	吉四六まつり実行委員会への補助金額(1催事)				
		8,200	内容	ふるさとづくり事業	数値の推移	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 計画
			財源	一般財源		中止	中止	中止	4,100	4,100
事業対象	臼杵市民及び来場者		今年度の成果	4年ぶりの開催で来場者数が心配でしたが、桜の開花と重なり多くの方が来ていただき盛大に開催できました。尚、令和5年度は第45回(R5.4.2開催)と第46回(R6.3.31)の2回開催しています。						
成果指標	指標名	来場者数			単位	数値の推移(総合計画の期間内)				
	説明・算式・引用	イベント来場者数				R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 実績	R6 計画
	指標設定の理由	実行委員会関係者同士の運営、交流による地域活性化			人	中止	中止	中止	35,000	15,000
評価	有効性		効率性		評価の理由					
	A	A;期待通り効果あり B:期待より効果少ない C:効果なし	A	A;効率的に実施 B:改善の余地あり C:効率性が低い	地域を代表する春の一大イベントとして定着しています。地元の伝統芸能を積極的に取り入れ、地域文化の掘り起こしや地域活性化につながるため					
事業の問題・課題	屋外イベントのため天候などによって、内容・来場者数が左右されます。		目標達成に向け、次年度以降の取組	伝統芸能団体への声掛けなどの支援を行います。						
課長評価	進捗状況		施策への貢献度		今後の方針					
	順調		貢献度 大		向上		施策に対する貢献度が大きく、効果と効率性があるため、現状の通り今後も事務事業を維持向上します。			